【書式例 5-3】

令和７年度　指定管理者点検結果

施　設　名	玉野市農林水産振興センター
所　在　地	玉野市田井２丁目 4464 番地
指定管理者	名　称　　有限会社みどりの館みやま 代表者　　代表取締役　市倉　勇樹 住　所　　玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指定期間	令和６年４月１日　～　令和 11 年３月 31 日（５年間）
担当部課	産業振興部農林水産課 電　話　　0863-32-5561 E-mail　　nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評価内容の総括	**総合評価**
指定管理者として適切に施設を管理しており、ここ数年、経営は好調を維持している。令和７年度の総売上高は微減したものの、４年連続で５億円を超えているなど経営状況は優良と評価する。 事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として安定的な商品の提供・販売により地域経済の向上が図られているほか、パン工房は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンが好調で、ソフトクリーム用番田産紫いもの委託生産も順調に数量を伸ばすなど、売上増加に大きく貢献している。また、駅前マルシェでは、週末を中心に１日最大７店舗の出店を受け入れ、道の駅の賑わい創出に寄与している。	S

■「総合評価」の評価基準

Ｓ（優　良）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上であり，かつＳが２つ以上である。

Ａ（良　好）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上である。

Ｂ（課題含）　次の３項目の評価結果にＢが含まれている。

Ｃ（要改善）　次の３項目の評価結果にＣが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 **【法令等の遵守】** 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 **【安全性の確保】** 施設の修繕や、施設内の定期的な巡回を行い、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。 **【財産の適切な管理】** 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 **【利用状況】** 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 （来客数） 令和７年度 農産物 267 千人、特産品 98 千人、パン工房 81 千人 令和６年度 農産物 275 千人、特産品 103 千人、パン工房 80 千人 **【コスト削減への方策】** 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を改善することで離職率が下がるなど、コスト削減に取り組まれている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	**評 価 結 果**
地域食材提供施設において、新たなメニューの投入やサービスの向上に取組まれている。	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	**評 価 結 果**
総売上高は４年連続して５億円を突破しており、利益面は黒字を確保した。	S

■「評価結果」の評価基準

S（優　良）　協定書等の基準を遵守し，その水準よりも優れた内容である。

A（良　好）　協定書等の基準を遵守し，その水準に概ね沿った内容である。

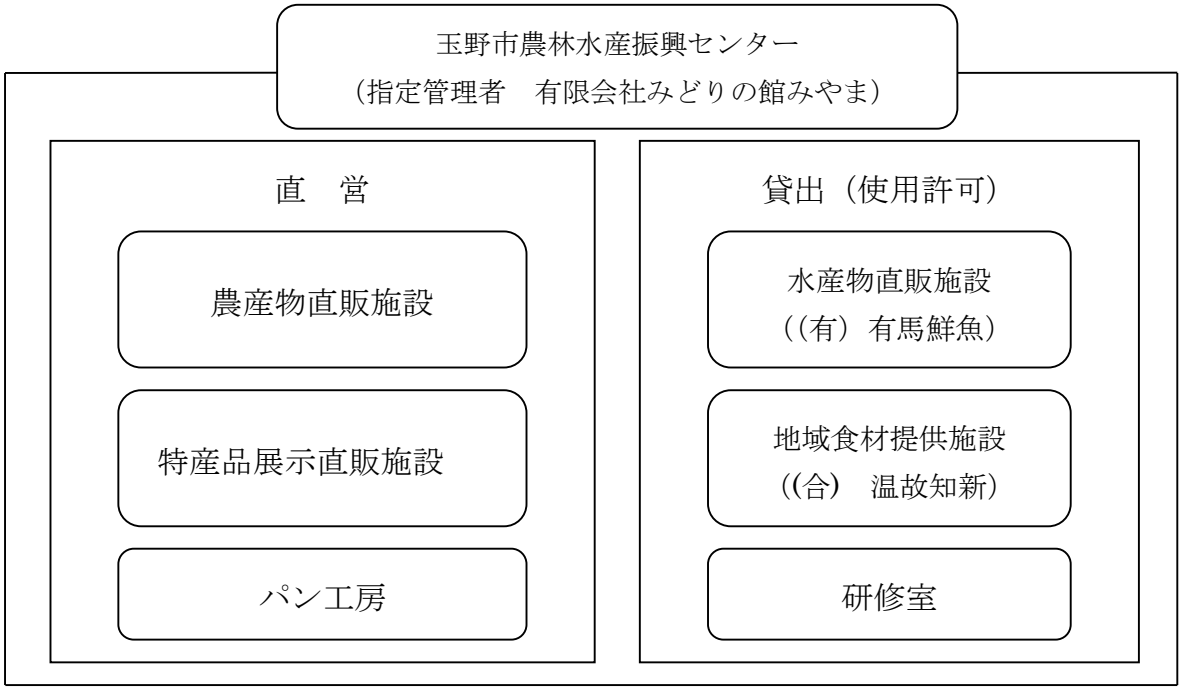
B（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが，内容の一部に課題がある。

C（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず，改善が必要な内容である。

Ⅰ　業務の実施状況に関する事項

1　管理体制の状況

（1）　指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



（2）人員配置状況

職　種	勤務形態	人数	備　　考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	2	
	パート	18	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	2	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	9	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		40	

2　施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3　利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して5年間の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

Ⅱ　施設の利用状況に関する事項

1　施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1件（有限会社有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1件（合同会社温故知新）
研修室	使用許可	58件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

Ⅲ　自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1　イベント名、内容、参加者数、収支状況　等

栽培講習会（野菜・花・果樹）　8回開催　参加者のべ124人

Ⅳ　料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1　利用料金の収入及び減免の状況

（1）　利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額　等

研修室使用料	58,500円（27件）
水産物直販施設	4,800,000円（400,000円×12月）
地域食材提供施設	3,960,000円（330,000円×12月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由　等

研修室使用料	72,000円（自主事業、玉野市の公共使用等のため　31件）

2　管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

Ⅴ　自己点検結果

当施設では、施設利用者をはじめ、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取り調査に加え、関係機関からの意見聴取も行うなど、幅広い立場からのご意見や改善提案の把握に努めている。

Ⅵ　経費節減・サービス向上に関する取組み

高騰するレジ袋や梱包資材の節減に努めた。電気料金も高止まりしており、老朽化した水道の水漏れが頻発したが修繕工事を行った。従業員の接客マナー向上に努めた。

Ⅶ　その他

第 28 期

経　営　状　況　説　明　書

内　　容

１．令和７年度決算の状況

２．令和８年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和７年度

決　算　の　状　況

目　　次

Ⅰ．　令和７年度 事業報告書 ---------- 3

Ⅱ．　令和７年度 決　算　書

（1）貸　借　対　照　表 ---------- 5

（2）損　益　計　算　書 ---------- 6

（3）販売費及び一般管理費内訳 ---------- 7

（4）製 品 製 造 原 価 内 訳 ---------- 8

（5）監　査　報　告　書 ---------- 9

Ⅰ．令和７年度事業報告書

（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）

1　事業実施状況

令和７年度は、瀬戸内国際芸術祭の開催と共に幕を開けた。深山公園内には常設のアート作品が設置され、会期中に運行された無料シャトルバスの効果もあり、秋会期まで国内外から多くの観光客が訪れた。 直売所においては、新鮮で安全・安価な野菜を求める顧客が定着しており、週末には開店前に行列ができる光景が恒例となった。農産物の販売は概ね好調に推移したが、一部の品目では生産者の高齢化に伴う出荷量の減少が見られた。

また、駅前マルシェ（キッチンカー販売エリア含む）では、週末を中心に１日最大７店舗の出店を受け入れ、道の駅の賑わい創出に寄与した。

令和７年度の総売上高は 521,476 千円（対前年度比 6,109 千円減、98.8%）と微減したものの、４年連続で５億円の大台を突破した。利益面については、営業利益 1,342 千円、経常利益 641 千円を計上し、黒字を確保した。

（１）農産物直販施設

新規登録者の出荷物は多品種で、野菜や果物の入荷量が順調に増えている。高齢による退会者は多いが、新たに 16 人が登録して、総数は２人減となった。

売 上 額：343,755 千円（対前年度比 -11,932 千円、 96.6%）
来 客 数：267,783 人　（対前年度比　-7,472 人、　97.2%）
登録者数：　411 人　（対前年度比　-2 人、　99.5%）

（２）特産品展示直売施設

新規登録者は３名だが、餅や日本酒など原料も岡山県産にこだわった特産品を製造販売しており、売上の増加に貢献した。

売 上 額：113,186 千円　（対前年度比　2,273 千円、102.0%）
来 客 数： 98,559 人　（対前年度比　-4,442 人、　95.6%）
登録者数：　92 人　（対前年度比　-2 人、　97.8%）

（３）パン工房

玉野産米粉を使用したオリジナルパンが好調で、ラインナップの拡充に伴い固定客も着実に増加している。昨今の米価高騰の影響を受け、加工用米粉の確保には苦慮したものの、ソフトクリームに使用する番田産紫いもの委託生産は順調に数量を伸ばしている。こうした取り組みを通じて、地域農業への貢献度もさらに高まっている。

売 上 額： 64,534 千円　（対前年度比　3,549 千円、105.8%）
来 客 数： 81,341 人　（対前年度比　1,695 人、　102.1%）

（４）研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センター等の協力により８回開催し、のべ 124 人の農産物出荷者が参加した。

【参　考】

（１）水産物直販施設

令和７年度の鮮魚部門は、瀬戸内産の鮮魚調理サービスや「名物焼きアナゴ」の好調により、売上が大幅に伸長し、遂に２億円の大台を突破した。施設面においては、バックヤードの敷地有効活用を目的とした第１期改修工事が完了し、運営効率の向上が図られた。

売 上 額：201,066 千円　（対前年度比　8,933 千円、104.6％）

（２）地域食材提供施設

みやまカフェ PUUT は営業２年目に入り、季節限定メニューの開発をはじめとした積極的な販促案を打ち出している。夏季は猛暑の影響により来客数が伸び悩む場面も見られたが、新メニューの投入やサービスの改善により、リピーターの確保と集客力の回復を図っている。

売 上 額：43,243 千円　（対前年度比　-5,516 千円、88.6％）

来 客 数：39,692 人　　（対前年度比　-4,985 人　、88.8％）

２　役員に関する事項　（令和８年３月 31 日現在）

就任年月日	役員名	氏　名	備　考
Ｒ４．５．25	代表取締役	市　倉　勇　樹	
H28．９．１	取　締　役	金　川　洋　一	支配人
Ｒ７．７．18	取　締　役	余　傳　幸　治	
Ｒ４．５．25	監　査　役	池　上　茂	
Ｒ５．５．22	監　査　役	大　西　英　利	

３　法人登記に関する事項

令和７年７月 18 日　取締役　岡本　英俊　辞任

同　日　　取締役　余傳　幸治　就任

４　職員に関する事項　（令和８年３月 31 日現在）

職　種	勤務形態	人数	備　考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	2	
	パート	18	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	2	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	9	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		40	

Ⅱ．令和７年度決算書

(1) 貸 借 対 照 表

令和８年３月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 102,699,212 】	【流動負債】	【 39,145,393 】
現金及び預金	87,537,084	買掛金	2,991,723
売掛金	5,601,460	未払金	19,683,546
商品	799,679	預り金	13,098,224
原材料	3,238,815	法人税等充当金	3,301,400
貯蔵品	3,167,559	商品券	35,000
立替金	314,688	未払法人税等	35,500
未収入金	1,944,367		
仮払金	95,560	【固定負債】	【 1,500,000 】
【固定資産】	【 54,142,630 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(50,889,296)		
建物	21,408,137	負債の部合計	40,645,393
建物付属設備	24,429,168	純資産の部	
構築物	68,293		
車両運搬具	1,237,742	【株主資本】	【 116,196,449 】
設備造作	0	(資本金)	(3,000,000)
工具器具備品	3,745,956	資本金	3,000,000
(無形固定資産)	(993,334)		
ソフトウエア	993,334	(利益剰余金)	(113,196,449)
(投資その他の資産)	(2,260,000)	利益準備金	1,500,000
出資金	60,000	別途積立金	27,200,000
保証金	2,200,000	施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	49,996,449
		純資産の部合計	116,196,449
資産の部合計	156,841,842	負債及び純資産の部合計	156,841,842

(2) 損 益 計 算 書

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

科目		金額	
			円
(経常損益の部)			
(営業損益の部)			
【純売上高】			
商品売上高		116,514,674	
売上高（パン工房）		60,086,587	
販売委託料		49,773,679	
販売手数料		4,094,218	
受取管理料		10,414,505	
登録・会費収入		1,017,284	241,900,947
【売上原価】			
期首棚卸高		424,452	
商品仕入高		75,453,671	
当期製品製造原価		57,338,855	
合計		(133,216,978)	
期末棚卸額		799,679	132,417,299
	売上総利益		(109,483,648)
【販売費及び一般管理費】			108,140,941
	営業利益		(1,342,707)
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		35,922	
道の駅清掃委託金		2,096,000	
急速充電器管理委託料			
雑収入		347,230	2,479,152
【営業外費用】			
営業外収入関係費用		3,113,464	
雑損失		66,505	3,179,969
	経常利益		(641,890)
	税引前当期純利益		(641,890)
	法人税等		185,800
	当期純利益		(456,090)

(3) 販売費及び一般管理費内訳

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

科目	金額	
役員報酬	39,000	円
給料手当	43,165,482	
賞与	12,294,000	
雑給	559,688	
支払報酬料	870,000	
法定福利費	6,878,042	
厚生費	1,842,186	
減価償却費	6,871,214	
賃借料	2,546	
修繕費	3,305,650	
事務用品費	254,472	
消耗品費	5,491,114	
水道光熱費	4,161,058	
旅費交通費	27,457	
支払手数料	2,018,337	
租税公課	272,560	
交際接待費	0	
保険料	1,865,257	
通信費	464,025	
諸会費	86,100	
広告宣伝費	511,576	
新聞図書費	104,450	
荷造運賃	205,210	
会議費	0	
清掃委託費	640,150	
車輌費	652,313	
研修会費	0	
管理諸費	3,361,847	
雑費	201,683	
リース料	5,047,600	
備品費	1,493,372	
地代家賃	5,454,552	
合計		（　108,140,941）

(4) 製品製造原価内訳

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

科　　目	金　　額	
		円
【材　料　費】		
期首原材料棚卸高	3,313,605	
原 材 料 仕 入 高	25,570,358	
小　　計	(28,883,963)	
期末原材料棚卸高	3,238,815	25,645,148
【労　務　費】		
賃　　金	16,829,445	
賞　　与	3,577,000	
法 定 福 利 費	2,626,689	
厚　　生　　費	484,109	23,517,243
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	2,953,297	
消　耗　品　費	2,522,704	
旅 費 交 通 費	0	
減 価 償 却 費	774,372	
修　　繕　　費	156,800	
車　　両　　費	0	
保　　険　　料	17,604	
備　　品　　費	103,619	
事 務 用 品 費	5,888	
リ　ー　ス　料	894,800	
管　理　諸　費	369,820	
諸　　会　　費	365,000	
広 告 宣 伝 費	1,112	
マリンpay費用	11,448	8,176,464
総 製 造 費 用		(57,338,855)
当期製品製造原価		(57,338,855)

監査報告書　謄本

監　査　報　告　書

令和８年５月 14 日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役　市倉　勇樹　殿

監査役　　大 西 英 利

池 上　　茂

令和７年４月１日から令和８年３月 31 日までの、第 28 期営業年度における取締役の執務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

１．会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。

２．貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。

３．事業報告の内容は、真実であると認める。

４．取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和８年度

事　業　計　画　の　概　要

目　　次

Ⅰ．　令和８年度 事業計画書 ---------- 12

Ⅱ．　令和８年度 予　算　書 ---------- 13

（1）　販売費及び一般管理費内訳 ---------- 14

（2）　製 品 製 造 原 価 内 訳 ---------- 15

(参考) 売　上　高　の　推　移 ---------- 16

Ⅰ．令和８年度事業計画書

（令和８年４月１日～令和９年３月 31 日）

農産物直売所は、堅調な販売実績に牽引され新規生産者の参入も増加している。その一方で、主力である大口生産者の高齢化に伴う入荷量の減少が懸念される。この傾向に歯止めをかけ、安定した供給体制を維持するための新たな施策を講じる。

運用４年目を迎える「農薬使用履歴管理システム」および「残留農薬自主検査」は、食の安全確保における当施設の根幹的な取り組みとして消費者に広く定着した。昨今の資材価格高騰による経営環境の変化においても、本事業は食の安全を守る最優先事項として継続する。また、岡山県農業改良普及センターの協力を仰ぎ、栽培講習会の開催や個別訪問による営農指導体制を一層強化し、生産技術の向上と安定出荷を推進していく。

さらに、開設 30 周年を迎える今年度は年間を通じて、公益財団法人玉野市公園緑化協会と共に「深山公園開園 50 周年事業」を展開する。両施設の節目を祝し、緊密な連携のもと記念イベントを開催することで、地域の賑わい創出とさらなる誘客の促進を目指す。

1. 農産物直販施設

生産者の高齢化や離農といった構造的な課題に対し、出荷者の継続的な新規参入を促進することで、農産物入荷量の安定確保に注力する。「食の安全」と「品質向上」を最大限に訴求し、鮮度・価格・味の三拍子が揃った農産物を提供することで、地域に信頼される直売所としての地位を堅持する。

市場仕入れ商品についても、引き続き「岡山県産」にこだわり、地産地消を推進する。需要予測に基づいた適切な在庫管理と品揃えの最適化を図ることで、常に消費者の期待に応える魅力ある売り場づくりを推進していく。

2. 特産品展示販売施設

玉野市内の事業者による特産品の魅力を発信し、地場産業の振興と地域活性化に貢献する。また、広大な園内を散策する来園者の利便性を考慮し、地域食材を活用した弁当や軽食の品揃えを大幅に拡充する。

3. パン工房

玉野市産「朝日米」の米粉を使用した商品ラインナップの拡充を図り、米粉食パンを定番商品として安定供給していく。今後も季節感を取り入れた新商品の投入や、地域食材を積極的に活用した限定商品の開発を継続し、商品の多様化を図る。

4. 研修室

栽培管理講習会は、今年度も年間８回開催する予定である。研修室の利用促進を図るため、市民の学習機会の提供やコミュニティ活動の場としての活用を周知する。

【参考】

- 水産物直販施設

老朽化が進行している施設は、令和８年度上期（前期）に改修工事を実施する。新たに排煙装置を設置・整備することで、長年の懸案事項であった煙害問題の抜本的な解決を図る。本改修により、施設環境の健全化に目途を立てるとともに、来場者および周辺環境への利便性と安全性の向上を目指す。

- 地域食材提供施設

開業３年目を迎え、地域食材の魅力を引き出したオリジナルメニューの提供を推進する。「道の駅みやま公園」でしか味わえない限定メニューの開発を促進し、他施設との差別化によるリピーターの確保を図る。施設利用者に対し、継続的なメニュー開発支援や緊密な連携体制の構築を行い、地域ブランドの確立に努める。

Ⅱ．令和８年度予算書

自　令和８年４月１日
至　令和９年３月31日

科　　目	予算額	前年度予算額
（経 常 損 益 の 部）		千円
（営 業 損 益 の 部）		
【純　売　上　高】	（ 252,100 ）	（ 249,700 ）
商　品　売　上　高	127,000	128,000
売上高（パン工房）	60,000	57,000
販　売　委　託　料	50,000	50,000
販　売　手　数　料	4,000	3,600
受　取　管　理　料	10,000	10,000
登 録 ・ 会 費 収 入	1,100	1,100
【売　上　原　価】	（ 142,050 ）	（ 138,530 ）
期　首　棚　卸　高	799	424
商　品　仕　入　高	85,000	85,000
製 品 製 造 原 価	57,050	53,530
合　　計	142,849	138,954
期　末　棚　卸　額	799	424
売上総利益	110,050	111,170
【販売費及び一般管理費】	108,410	109,830
営業利益	1,640	1,340
（営 業 外 損 益 の 部）		
【営　業　外　収　益】	（ 2,646 ）	（ 2,596 ）
受　取　利　息	50	0
道の駅清掃委託金	2,096	2,096
急速充電器管理委託料	0	0
雑　収　入	500	500
【営　業　外　費　用】	（ 3,200 ）	（ 2,805 ）
営業外収入関係費用	3,200	2,805
営業外損益	-554	-209
経常利益	1,086	1,131

(1) 販売費及び一般管理費内訳

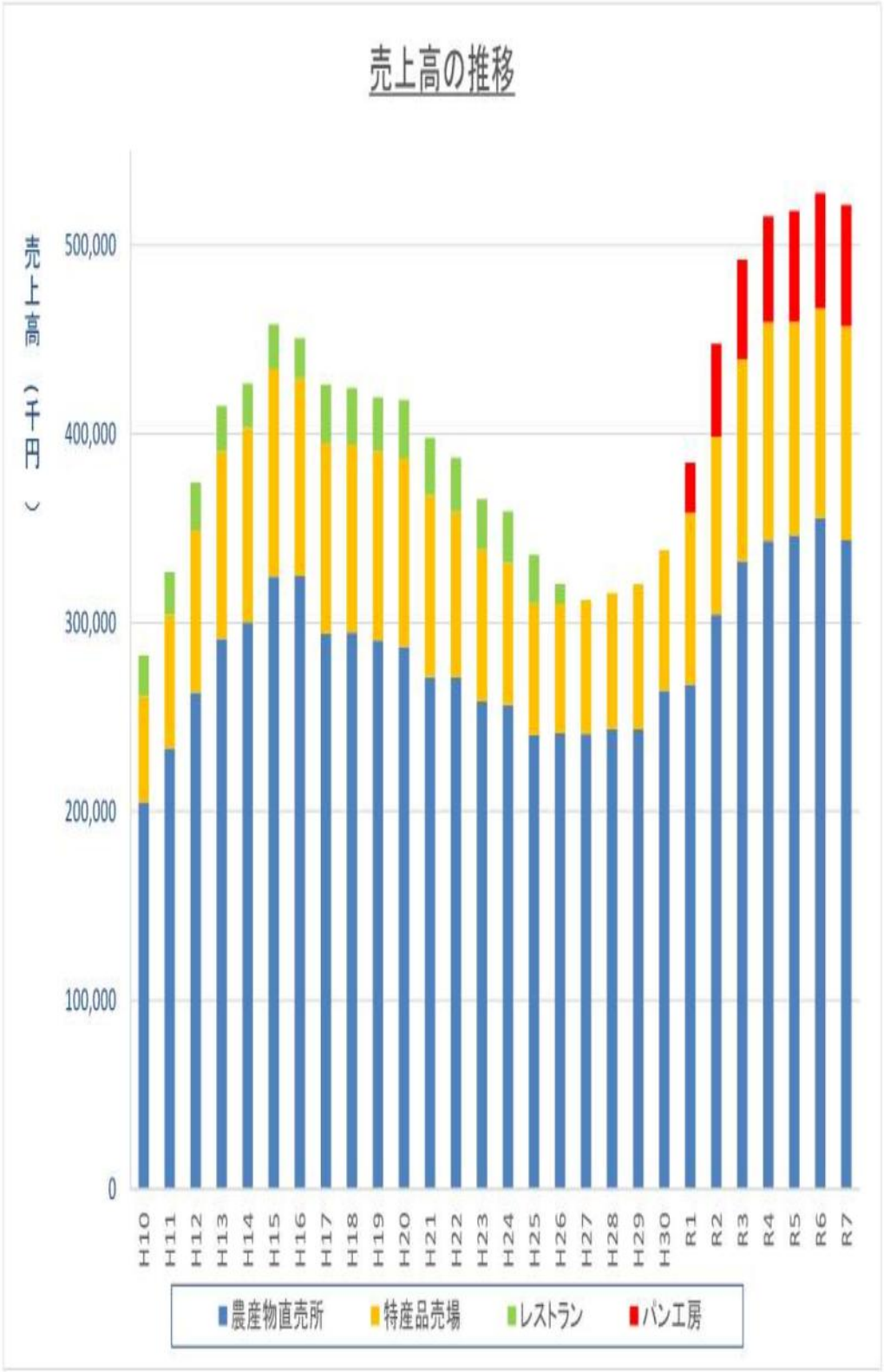
単位：千円

科　　目	予　算　額	前年度予算額
役員報酬	60	70
給料手当	43,000	41,000
賞与	12,000	12,000
雑給	500	500
支払報酬料	90	1,000
法定福利費	6,800	6,800
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,000	8,000
賃借料	10	10
修繕費	3,000	3,000
事務用品費	400	400
消耗品費	5,000	5,000
水道光熱費	5,000	6,000
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,500	1,500
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	2,000	3,000
通信費	500	500
諸会費	200	200
広告宣伝費	500	500
新聞図書費	100	100
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	1,000
車輌費	300	300
研修会費	500	500
管理諸費	3,500	4,000
雑費	100	100
リース料	5,000	5,000
備品費	1,500	1,500
地代家賃	5,455	5,455
合　　計	**108,410**	**109,830**

※科目間の流用を認める

(2) 製品製造原価内訳

科　　目	予算額	前年度予算額
		千円
【材　料　費】	(26,000)	(24,000)
期首原材料棚卸高	3,238	3,313
原 材 料 仕 入 高	26,000	24,000
小　　計	29,238	27,313
期末原材料棚卸高	3,238	3,313
【労　務　費】	(22,500)	(21,900)
賃　　金	16,000	15,500
賞　　与	3,500	3,500
法 定 福 利 費	2,600	2,500
厚　生　費	400	400
【製 造 経 費】	(8,550)	(7,630)
水 道 光 熱 費	3,000	2,800
消 耗 品 費	2,200	2,000
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	700	680
修　繕　費	300	300
車　両　費	10	10
保　険　料	50	50
研 修 会 費	30	30
備　品　費	300	300
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	900	400
管 理 諸 費	400	400
諸　会　費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マリンpay費用	150	150
合　　計	57,050	53,530


売上高の推移
売上高（千円）
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
H10
H11
H12
H13
H14
H15
H16
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
R5
R6
R7
農産物直売所
特産品売場
レストラン
パン工房

【書式例 5-4】

令和７年度　指定管理者自己点検結果

点　検　日	令和８年３月１日　（５回目）
施　設　名	玉野市農林水産振興センター
所　在　地	玉野市田井２丁目４４６４番地
指定管理者	名　称　有限会社みどりの館みやま 代表者　代表取締役　市倉　勇樹 住　所　玉野市田井２丁目４４６４番地
指定期間	令和６年４月１日　～　令和１１年３月３１日（　５年間）
担　当	電　話　０８６３－３２－０１１５ E-mail　miyama@m-y.jp

評価内容の総括	**総合評価**
４期連続売上高５億円を突破し、来店するお客様の満足度も高評価である。 また、水産物直販施設や地域食材提供施設の各テナントにおいても売上は堅調に推移しており、施設全体の集客力向上と顧客満足度のさらなる向上に大きく寄与している。 **【前回の自己点検からの改善点】※2 回目以後の自己点検の場合** **令和８年度**　道の駅みやま公園３０周年を迎えるため。４月から様々な企画を実施する。 老朽化が目立つ施設は、玉野市と協力して修繕をして、来場者の安全を図った。	**A**

■「総合評価」の評価基準

Ｓ（優　良）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上であり、かつＳが２つ以上である。

Ａ（良　好）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上である。

Ｂ（課題含）　次の３項目の評価結果にＢが含まれている。

Ｃ（要改善）　次の３項目の評価結果にＣが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃に務めた。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、消火器等の保守点検をし、修繕を行った。施設周辺と駐車場の清掃を増やして、環境美化に努め、施設内の警備は継続して強化した。夜間は警備会社と契約し、犯罪撲滅に努めた。 【財産の適切な管理】 老朽化した水道管や備品は順次更新し、適切な使用や保守管理を行った。 【利用状況】 常に魅力的な売場になるよう運営をした結果、来園者の滞在時間が増えた。 【コスト削減への方策】 仕入れ先の見直しを行い、コスト削減に努めた。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
従業員には毎日朝礼で申し送りをして、購買者への気配りを忘れないよう指導している。 【前回の自己点検からの改善点】※2 回目以後の自己点検の場合 EV 充電器の設置協力をして、車両受け入れの選択肢を広げた。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
売上高は高水準を持続しており、経営基盤は安定している。機器の更新や修繕もリースを利用して計画的に進めている。従業員への昇給や賞与の増額など、労働者への還元も積極的に行っている。	S

■「評価結果」の評価基準

S（優　良）　協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。

A（良　好）　協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。

B（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。